

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

デイリー・ジーザス・ニュース #357

天国におけるイエスの永遠の奉仕

復活したイエスの永遠の未来にわたる言葉と働き

イエスはスミルナの教会に語りかけます。

そして耳を傾けるすべての信者たち

改訂2.8-11

=====

8」私はあなたに命じます。スミルナにある教会の使者に書き送ってください。

」これは、最初であり最後であり、死んでから生き返った方が言われることです。

9」わたしはあなたの苦しみと貧しさを知っている。しかし、あなたは富んでいる。また、ユダヤ人と自称しながら実はそうではない、サタンの会堂に属する者たちの冒涇も知っている。

10」あなたがたに命じる。これから受けるであろう苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔はあなたがたを試みるために、あなたがたのうちのある者を牢に入れようとしている。あなたがたは十日間、迫害を受けるであろう。しかし、あなたがたに命じる。死に至るまでも忠実でありなさい。そうすれば、永遠の命という勝利の冠をあなたがたに与える。」

11」耳のある者は皆、御霊が諸教会に告げていることを聞くように命じます。勝利を得る者は、決して第二の死によって滅ぼされることはありません。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	トルコ沖のギリシャのパトモス島
タイムライン	イエスの昇天から約60年後
イエスの生涯の文脈	第9段階：イエスの復活と永遠の宣教
	イエスの永遠の奉仕
	復活したイエスの永遠の未来にわたる言葉と働き
タイトル：	イエスはスミルナの教会と、耳を傾けるすべての信者に語る

スミルナとフィラデルフィアの教会は、イエスが語りかけた七つの教会の中で、唯一イエスから叱責を受けなかった教会でした。今日私たちは、スミルナの教会へのイエスのメッセージを通して、聖霊が私たちに何を語りかけてくださるかに耳を傾けようと努めます。そして、DJN356の七つの手紙全体の基本構造として指摘した、この手紙の四つの部分を考察します。

(1) イエスはスミルナへのメッセージの冒頭で、ご自身を「**最初であり最後であり、死んでから生き返った者**」と表現されました。これは重要な意味を持ちます。なぜなら、イエスはこれらの信者たちに、たとえ命を犠牲にしても、ご自身に忠実に従うように命じるからです。私たちの主は偽善者ではありません。イエスは、弟子たちが耐えなければならないであろう迫害よりもはるかに激しい迫害の中で亡くなりました。それでも、イエスは忠実であり続けました。イエスは復活し、天に昇られたので、迫害を受けている信者たちを力づける力を持っておられます。それは、イエスが最初の殉教者であるステファノに、ご自身の天でのご臨在の幻を見せて力強く励まして以来、そうしてきたのと同じです。

イエスはまた、「**最初であり最後である**」とも呼ばれます。この二つの称号は、イエスがすべての被造物において卓越した存在であることを示しています。イエスは三位一体の第二位格として、他のすべての被造物に先立って存在することにより、「最初」、すなわち「先」に存在しました。また、イエスは「最後」の位格でもあり、最終再臨と永遠の王国において歴史上のすべての出来事をまとめます。「最初」と「最後」はどちらも最高権威であり、神のみに属するものです。イエスは神であり人であり、その両方を一人の位格に統合し、これらの神聖な称号の栄光と名誉を倍増させます。

(2) イエスは、スミルナの信者たちの迫害による苦悩と謙遜さを知っていました。イエスは彼らのこれらの特質を称賛しました。なぜなら、これらの特質こそが、彼らが享受していた豊かな霊的豊かさの鍵だったからです。これらは、イエスが「**山上の教え**」（「**心の貧しい人は幸いです**であ

る。わたしの名のために迫害されるあなたがたは幸いである。 「」の中で真の弟子の核となる態度として述べた特質です。

神が私たちを無条件に愛してくださるということは、私たちにとって最も楽な人生を求めるという意味ではありません。むしろその逆です。愛は、たとえそれが信じられないほどの苦痛を伴うものであっても、他者にとっての最善のみを求めます。迫害に耐える忠実さもそれと似ています。スミルナの信者たちに対するイエスの愛は、彼らを迫害から救い出すことにはつながりませんでした。イエスは、御霊を通して命令と約束を与え、彼らを強めました。それは、彼らがイエスのように、耐え難い困難に耐えられるように、超自然的な力を与えたのです。忠実さは、一時的な苦しみを比べれば取るに足らないものにする、永遠の報いを保証するものでした。愛は、他者にとって最も楽なことではなく、最善のことを求めます。

(3) イエスはこれらの信者たちを何ら叱責しませんでした。これから起こることを恐れてはならないと命じました。イエスの恵みと力は、彼らがイエスへの愛ゆえに耐え忍ぶには十分以上のものでした。

(4) イエスは、第二の死、すなわち肉体の死において目に見えない人格が地上の肉体から分離される時に、いかなる苦痛も存在しないという力強い約束で話を終えられました。 「第一の死」とは、アダムが罪を犯した時にすべての人々に訪れた霊的な死であり、 「墮落」によって全人類とすべての被造物を墮落させました。すべての人は、神から霊的に分離した状態、つまり死の状態でこの世に生まれます。だからこそ、私たちは皆、救いと永遠の命を必要としているのです。

応用：

「第二の死」によって殉教者としてこの世を去る信者は、死ぬことを恐れる必要はありません。実際、殉教者たちは神への愛ゆえに死ぬという特権を喜び、誇ります。彼らは罪深い失敗に縛られることなく、神の御前にまっすぐに進み、神の御顔を見ることに恥じることなく、ただ主を初めて見る歓喜と歓喜と歓喜に満たされるのです。これは、迫害の中でも忠実であり続ける者たちにイエスが約束されたことです。

あなたはイエスのために死ぬ覚悟がありますか？迫害に耐える覚悟がありますか？聖霊はあなたに何とおっしゃっていますか？